

競技進行上の注意

団体戦では、受付時にオーダー表の提出をお願いします。

1. 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニス ハンドブック」、大会の要項 にしたがって行なう。マッチは7回ゲームとする。ただし、天候などの状況により5回 ゲームとする場合もある。
2. プレーヤーならびに監督・コーチは、神奈川県中学校ソフトテニス大会出場規定をよく読み、内容を理解した上で、円滑に運営ができるように努める。
3. 監督・コーチは、会場内では監督証・コーチ証を必ず付ける。また、団体戦においては、監督・コーチはトスおよび、試合開始・試合終了時に整列する。
4. コート割りおよび進行は、本部から連絡をするが、進行状況によっては変更もあるので、放送に注意すること。
個人戦のトスは本部棟付近で行う。試合の服装(マスク着用)でトスを行う。
トスが終わったら指定されたコートのベンチに入り、試合の進行に協力する。
団体戦のトスは基本コートで行う(トスを行うときは、マスクを着用していること)。また、個人、団体ともベンチは番号の小さい方が本部のサイドとする。応援については、選手のベンチと同じサイドで行う。
※トスを行う際、お互いの距離が2m程度離れて行うこと。
5. 対戦相手が決定したら速やかにオーダーを本部に提出する。
(通告後、5分経過で警告1枚、10分経過で警告2枚、15分経過で失格とする)
6. プレーヤーは、審判の指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
ハイタッチや握手、至近距離での声掛けは行わない。
チェンジサイズのときは次のゲームには1分以内にはいること。また、コートからは離れてはならない。
7. 試合前の練習は、1分以内とする。
8. 試合が終了したら、試合の勝者は採点票を本部に届け、敗者はコートに残って次の試合の審判に入る。監督はコート主任に入る。(試合開始前、終了後のあいさつの際に、握手はしない。)
9. 審判は正審・副審の判定区分を守り、大きな声でコールをする。
10. 試合の進行に支障がある場合は、注意を喚起し、警告(イエローカード)を適用する。
11. 2面展開・3面展開で試合進行していく。